

# 3市共同資源物処理 施設の姿について

平成26年12月13日

施設整備地域連絡協議会 説明資料  
小平・村山・大和衛生組合 計画課

1

## 説明内容

- 1 協議会に期待すること
- 2 4団体の方針
- 3 協議対象
- 4 具体的協議内容
- 5 基本構想に示した内容
- 6 今後のスケジュール
- 7 地域委員・専任者へのお願い



2

# 1 協議会に期待すること その1

## ・リスクコミュニケーション

### 環境リスクとは？

化学物質が環境を經由して人の健康や動植物の生息または生育に悪い影響を及ぼす可能性をいいます。  
その大きさは、化学物質の有害性の程度と、どれだけ化学物質を取り込んだか(暴露量)の兼ね合い(積)で決まります。

### リスクコミュニケーションとは？

環境リスクなどの化学物質に関する情報を、市民、産業、行政等のすべてのものが共有し、意見交換などを通じて意思疎通と相互理解を図ることをいいます。  
化学物質による環境リスクを減らす取り組みを進めるための基礎となるものです。

3

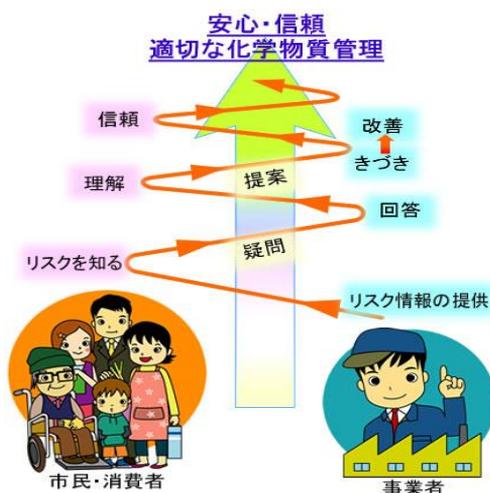
# 1 協議会に期待すること その2

## リスクコミュニケーションのイメージ

一般的な(化学物質を扱う)工場の例

事業者 → 組合  
市民・消費者 → 協議会の皆様  
適切な化学物質管理 → 施設建設・操業

に置き換えると。



4

## 2 4団体の基本方針

### (1) 協議会設置要綱

3市共同資源物処理施設の建設に際し、

- ① **施設の内容**に関すること
  - ② 施設の**環境への配慮**に関すること
  - ③ 3市地域の**廃棄物処理**に関すること
- について、協議を行う。



### (2) 基本構想

具体的な環境対策及びプラザ機能については、  
**施設周辺住民との協議のうえ設定し、実施計画や実施設計に反映させる**  
 こととします。(基本構想 P57、P81)

5

## 3 協議対象

### ① 施設の内容に関すること

- ・ **施設の姿**について
- ・ **プラザ(環境啓発)機能**について
- ・ その他

### ② 施設の環境への配慮に関すること

- ・ **生活環境影響調査**について
- ・ **公害防止対策**について
- ・ その他

協議会において  
**協議・意見交換**

3市共同資源物処理施設の

**実施計画  
 実施設計等**

に反映

6

## 4 具体的協議内容

施設の姿について、協議をお願いする内容(平成27年3月目途)

平成27年度策定する「**実施計画への意向等のとりまとめ**」、

及び「**実施計画策定段階における必要資料を把握するための資料**」

(1)施設の姿について

→ デザイン・意匠(イメージ)について、意向を把握したい。

(2)緑化について

→ レイアウト、植物種等について、意向を把握したい。

(3)プラザ(環境啓発)機能について

→ 地域防災、環境学習等の機能について、希望を把握したい。

7

## 5 基本構想に示した内容 その1

<計画の概要>

- 施設名称：3市共同資源物処理施設
- 処理方式：手選別、圧縮梱包
- 処理能力：24 t/日  
(容リプラ：17 t/日、ペットボトル：7 t/日)
- 建築面積：約2,500㎡ (敷地面積：約4,300㎡)
- 延床面積：約4,900㎡
- 建物高さ：約24m
- 構造：地上3階構造(地下ピット有り)
- 作業時間：午前8時～午後5時(月～金曜日)
- 緑化面積：屋上部 約560㎡ 地上部 約550㎡

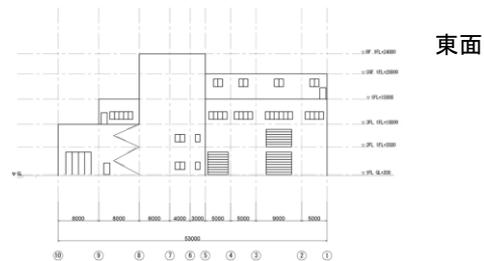
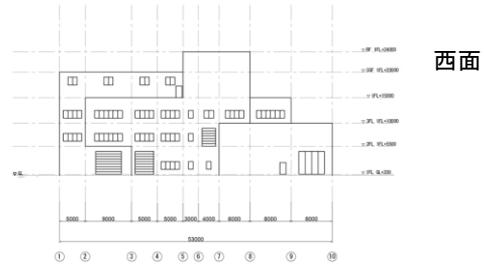
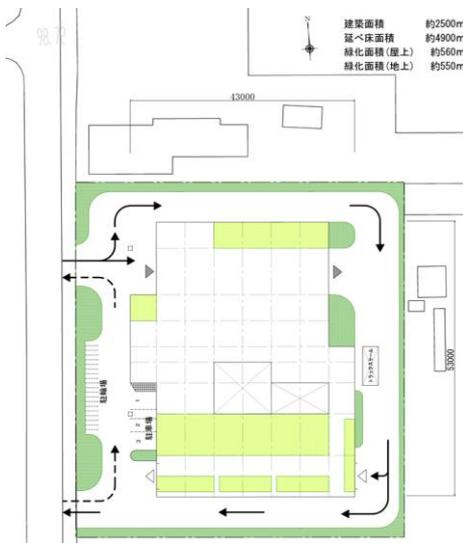
8

## 6 基本構想に示した内容 その2

(プラザ機能) 自由スペース使用例

機能	機能	内容
展示・提供	フリーマーケット	市民団体が開催するフリーマーケットの場を提供します。
情報提供・学習	リサイクル体験	リサイクル意識の啓発・普及という観点から、修理技術や再利用技術を住民に体験してもらいます。(日常生活の中でそれを実践し、ごみを減らすライフスタイルの形成推進に努めてもらいます。) 修理技術等を持った人材を活用して「リフォーム教室」や「リサイクル教室」などを実施します。
	教室・イベント	環境学習に関する講演会や各種イベントに使用します。 施設見学者に対して施設の説明を行います。 地域活動やグループ活動の打合せ・会議等に利用できます。
地域活動・コミュニティ形成の支援	講演会・イベント	環境・資源やリサイクルについての関心や理解を高めるために講演会や各種イベントを開催する場を提供します。
	地域活動	環境・資源やリサイクルに関心を持つグループ、団体の活動のための会合・会議の場を提供します。

## 7 基本構想に示した内容 その3



## 8 いただいている主な意見(施設関係)



- 施設の高さ(24m)が高すぎる。
- 施設が大きく圧迫感がある。
- 焼却処理すれば不要な施設である。
- 委託処理のままでよい。(施設不要)
- 購入した店舗に返せば、処理(施設)の必要はない。
- 他の場所に建設すべき。
- 他に適地がある(はず)。

11

## 9 今後のスケジュール(予定)

- 平成27年3月まで
  - ①施設の姿、②緑化について、協議会の意向を把握、
  - ③プラザ(環境啓発)機能、その他について、希望を把握したい。
  - 意向・希望を踏まえて、施設整備実施計画の発注(組合)
- 平成27年8月まで
  - 協議会への情報提供を図り、意見交換を行いつつ、
  - 施設整備実施計画(案)の作成(組合・コンサル)
- 平成28年1月まで
  - 可能な範囲で意向・希望を反映して施設整備実施計画を作成

12

## 10 地域委員・専任者へのお願い

### (1) 意見のとりまとめ

自治会の総会・管理組合理事会などの場で、状況を説明し、**会員の意見のとりまとめ(箇条書き程度)**をお願いしたい。

説明は以上です。  
ご清聴ありがとうございました。  
追記があります。

### (2) 総会・理事会の場への説明

施設の建設に関して、総会・理事会などの場で詳細説明が必要な場合などは、**組合に要請**してください。

※日程等調整のうえ、組合職員が説明に伺います。



13

## 追記 リスクコミュニケーションの**陥りやすい誤解**

- 1 **化学物質は安全なもの**と**危険なもの**に分けられる。  
毒とは言えない物質でも大量に取り込め(暴露)ば害があります。  
一方、毒性の強いものでも十分な管理を行えばリスクは小さくなります。
- 2 **化学物質のリスクはゼロ**にできる。  
リスク低減の努力は永久に必要ですが、  
完全にリスクをなくすことはできません。
- 3 **化学物質については科学的に解明**されている。  
化学物質に関するリスク情報は十分ではありません。  
科学的な知見の不足や不確実性を認めたいうえでの議論が必要です。

14